

北戸蔦別岳（1, 912m）千呂露川・二岐沢コース

令和元年9月22日（日）～9月23日（月）

GL：藤木、SL：酒井 若林、内山、笹山、八重樫、佐藤

当初は22日11時登別発日高研修所泊り、23日登山帰宅が23日は台風接近で強い雨風になるので変更して22日登山となる。

3:45 藤木宅車2台で出発。6:45 日高道の駅札幌組合流。研修所に寄り 7:35 二岐沢出合駐車広場着。広場の前後林道に20台ほど車が連なってとまっている。

幸い広場に2台スペースがあった。気温8℃。

8:00 スタート。崖下の釣り人からどこまでですか？気を付けて頑張ってくださいと声を掛けられた。空は黒い雲白い雲の混合で視界は良く、風は無い。8:45 取水ダム到着。林道完歩。8:55 二の沢出合目



十数回の渡渉で尾根に取り付く

指す。

9:25 二の沢出合に。狭い沢沿いの登りとなる。途切れ途切れに徒渉があるが水量はたいしたことない。9:45 一人と会う。この後ヌカビラ岳まで20名以上とスライドする。小パーティーであり、半数近くは単独者であった。

10:25 二の沢完。10:35 広い尾根の登山道に、林の中の急斜面をひたすら登り続ける。紅葉が見られるが色づきは今一です。11:10 “トッタの泉” 着。細い水量だが水の流れは良い、いい水だ。急登は続く。明るい雲も多くなり薄日



急登は黄葉に癒され耐え忍ぶ

も差してくる、チロロ岳方面目指す稜線も見える。大きな岩群が見え、低木の斜面を過ぎ、岩尾根の二本のアルミ梯子を上がり 12:30 稜線上に出る。視界が広がる。風が強く冷たい。対面の幌尻岳頂上稜線は雲がかかり上は雲だらけ、北カールはバッチリ見える。他方面は遠望が利く、少し進み窪地で昼食となる、眼上はヌカビラ岳頂上だ。も増し日差しも多くなる。12:55 食事も終わり登りに。5分で 13:00 ヌカビラ岳着。時々幌尻岳稜線の雲が切れる、北カールを抱いた堂々たる山容がいいですね。キリッとした戸蔦別岳もカッコいいな。



北日高の山並み チロロ岳とチロロ西峰

左眼下の北トッタカールを横切ると、下のコルにテント3張 テント片付け二人見える、コル

から最後の登りに。13:50 北戸蔦別岳山頂着。5℃。女性一人がいて幌尻岳方面に行った仲間を待っているという。この方に記念写真パチリ。1967m峰～ピパイロ岳～伏美岳の連なりが続くピパイロ岳まで日帰りで来ているが、此处からピパイロ岳まで行きたかったなあ。

幌尻岳北の肩から戸蔦別岳までの展望の稜線も歩いていればなあ。

十勝幌尻岳～札内岳～エサオマントッタベツ岳が黒く見えその奥は雲の中。



北戸蔦別岳山頂が目前に

戸蔦別岳から戸蔦別川源流のスッキリした裾野が緑のカーペット状に広がっている。

リーダーは沢を詰めB沢経由で戸蔦別岳に数回登っている。いいですね。

14:05 下山に、幌尻岳頂上稜線の雲も消え、14:40 ヌカビラ岳着。幌尻岳を背に記念写真撮影。まもなく急斜面の下りです。足元確認集中、キョロキョロしないこと！



満面笑顔の北戸蔦別岳山頂

3名下山者を追い越す、日帰り登山はリュックが軽いのでたんと下っていく。15:20 “トツタの泉” 着。冷たい水をゴクリと飲む。更に下って 15:55 二の沢着。一息入れる、下りが続く、滑りやすい石に注意。16:40 二の沢完歩。ほぼ平坦な所を進む。若い二人休憩中一人は膝が痛いそうだ。17:20 取水ダム着。一休み、まだまだ明るい。10℃。林道歩き。日の入り 17:30 一気に暗くなってきた。急ぎ足になる。こうなると、

早く温泉だぜ、早くビールだぜ。という雑念が入ってくる。更に早足になってくる、足が痛くなりそう。17:55 二岐沢出合着。真っ暗になる寸前だ、車5台あり。本日の日帰り登山は我々だけであった。登り5時間50分、下り3時間50分だった。

ひだか沙流川温泉でゆったり浸かり、セコマで食材飲み物等を買って21:00 夕食。テーブルにジンギスカン鍋、酒井さんがマイフライパンで味付けしてくれたキャベツ、ボンレスハムステーキ、珍味類など、冷えたビール類も冷蔵庫にたっぷりです。まずビールで乾杯、賑やかに山談義など弾む。

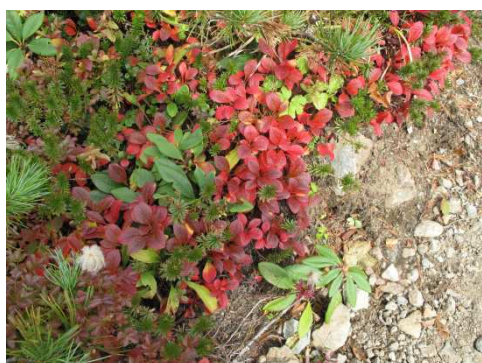
宇田さんの『誕生日』照明を落として手拍子のハッピーバースディソング甘いケーキを食べました。日高の山は初めてでさうで天気に恵まれ良かったですね。

冬山の話で盛り上がり、男性陣は0:30 頃布団に入ったなあ。

9月23日 雨の帰路です。断続的に強い雨になる、風は弱かった。

11:30 自宅到着。安全運転ありがとうございました。

記録 佐藤



ウラシマツツジが映える、疲れもとれる



ヌカビラ岳付近から雲をはらって戸蔦別岳と幌尻岳が姿を見せる